

21世紀の橋通へ向けて

ご挨拶



イラスト提供：
宮崎日日新聞社



宮崎市長
長友 貞藏

本市は「活力とうるおいにみちた文化の香り豊かなまち・みやざき」を目標に、陸・海・空の総合交通網や、下水道といった都市基盤整備が着々と進展するなかで、国際コンベンション・シティ整備地区の指定や宮崎・日南海岸リゾート構想の承認など新たな街づくりを積極的に進めているところでございます。

今日、商店街をとりまく環境は、消費者のニーズが多様化・高度化し、情報化が進展する中で、都市間競争の激化などにより厳しい情勢にあります。

このような時に、宮崎県の顔であるメインストリート橋通の五商店街が、愛され、親しまれる商店街に発展していくように、憩い、安らぎ、うるおいのある「生活の場」としての機能を備え、快適で魅力のある商店街を形成するために、宮崎県内ではじめて、商店街活性化構想策定事業」に取り組まれましたことは、まことに時宜を得たものと思います。市政に携わる私といたしまして心強いกำลังใจでございます。

商店街や関係者の皆様の大変なご努力の中から、花が咲くヒューマンタウン「橋通」をテーマにして、本事業計画書をまとめられたわけですが、今後本事業に結集された力により新たな街づくりが推進されるものと期待いたしているところであります。

本市といたしまして、できる限りのご支援をいたしたいと思っております。終わりに、橋通五商店街に結集された事業者の皆様のご活躍とご繁栄を心からお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。



宮崎商工会議所
会長
塩見 一郎

宮崎市は今春、永年の懸案であった空港の大型化やカフェエリーの就行が実現する大産業基盤のインフラ整備が大きく前進し、また今後においてはリゾート計画の具体化や国際コンベンション都市づくりと相まって、その発展が期待されるところであります。

一方、商店街にあっては、宮崎県の顔であるメインストリートの土地の流出化の動きや、郊外地区における新たなショッピングゾーンの形成も活発化する等、商業機能・環境に大きな変化が生じてきております。

このような状況の中で平成元年度「商店街活性化構想策定事業」の認定を受け、橋通五商店街をはじめ、学識経験者、関係機関等のご努力と熱意によりここにその成果が報告されることは誠に時宜を得たものでございまして、たいへん喜んでおります。

当商工会議所におきまして、平成二年度に県・市のご支援を得て21世紀を目指した商業ビジョンを皆様とともに策定いたしました所存でございますが、橋通の五商店街におかれまして、この度の活性化構想を足がかりにして、真に地域住民に親しまれる活力のある商店街の形成に向けて邁進されることを期待いたします。

最後に、橋通の五商店街振興組合の益々のご発展を祈念申し上げお喜びの言葉といたします。